

季報

No. 79

2011(平成23)年
3月



ちりめん(縮緬)本

目次

新入生には是非読んで欲しい1冊

- ◆ P2 渡邊 了好 / 山崎 正伸 / 山口 直孝 / 松本健太郎
- ◆ P3 増田裕美子 / 原 由来恵 / 林 謙太郎 / 中川 桂 / 土佐 秀里 / 田端 克至
- ◆ P4 瀧田 浩 / 五月女肇志 / 白石まりも / 塩田今日子 / 小山 聡子 / 改田 明子
- ◆ P5 小淵 朝男 / 大地 武雄 / 岩田 幸訓 / 伊藤晋太郎 / 磯 水絵 / 飯田 幸裕
- ◆ P6 千代田区立千代田図書館との共同企画
- ◆ P7 附属図書館案内(1)
- ◆ P8 附属図書館案内(2) / 表紙資料解説

新入生に 是非読んで欲しい1冊

書名
『アーロン収容所』

著者
会田雄次

発行所
中央公論社
中公新書 1962年

価格
660円

日本とは?日本人とは?ヨーロッパとは?ヨーロッパ人とは?アジアとは?戦争とは?以上のどれかに興味があれば一読を勧める。本書は1960年代に現れ、生々しい戦場と捕虜体験を基に日本人論、文明論に一石を投じたが、今も十分に新しい。

文学部 渡邊 了好

書名
『日本語と時間』
—〈時の文法〉をたどる

著者
藤井貞和

発行所
岩波書店
岩波新書 2010年

価格
840円

過去を表す助動詞〈著者は助動辞〉の理解と解釈が丁寧に解説されています。古文の理解が深まります。難しいと感じた人には、同著者の「古文の読みかた」(岩波ジュニア新書819)がお勧めです。

文学部 山崎 正伸

書名
『社会主義の危機は人類の危機
武井昭夫状況論集
1980-1993』

著者
武井昭夫

発行所
スペース伽耶
(星雲社発売) 2010年

価格
3,360円

日本人の常識を疑がってかかることも、大学生にとっては大切。タイトルに驚いた人は、ぜひ一読を。昨年亡くなった運動家の、真にグローバルな感覚がとらえた世界の姿は、まったく未知のものとして迫ってくるはず。「時評」のジャンルで本書を超えるものはない。

文学部 山口 直孝

書名
『記号の国—1970』
(ロラン・バルト著作集7)

著者
ロラン・バルト 著
石川美子 訳

発行所
みすず書房 2004年

価格
3,570円

フランスの記号学者として高名なロラン・バルトが数度にわたって来日し、日本文化との接触から彼自身が体感したことをイメージとテキストをおりませながら綴った書物。異邦人としての立場から異文化に、あるいは異質な他者に向き合うことの意味を考えさせてくれる一冊。

文学部 松本健太郎

書名
『日本語が亡びるとき
—英語の世紀の中で』

著者
水村美苗

発行所
筑摩書房 2008年

価格
1,890円

衝撃的なタイトルの本書は、グローバルなインターネット時代において日本語のありようを問い直す問題提起の書。著者は日本近代文学の誕生を「奇跡」と呼び、これを読みつぐことを提唱する。日本人のアイデンティティである日本語について深く考えさせる良書。

文学部 増田裕美子

書名
『明解源氏物語五十四帖
あらすじとその舞台』

著者
池田弥三郎/伊藤好英

発行所
淡交社 2008年

価格
1,575円

『源氏物語』各巻のあらすじと、設定舞台と紫式部や物語の関係をわかりやすく解説したエッセイで構成。『源氏物語』愛読者の方も、マンガだけの方も、読んだことない方も、それぞれが楽しめると共に、二松学舎の学生らしい知識が得られる一冊だと思います。

文学部 原 由来恵

書名
『てにをは辞典』

著者
おないはじめ
小内一

発行所
三省堂 2010年

価格
3,990円

たとえば、「蟠(わだかまり)」という語の使い方を知りたいときには、この語の結合語の例(コロケーション)がわかれば、とても役に立つはずですよ。この本は、そんな用例満載のポケット版辞書です。願わくは、一日も早く電子辞書に収録されんことを。

文学部 林 謙太郎

書名
『旗本夫人が見た
江戸のたそがれ』

著者
深沢秋男

発行所
文芸春秋
文春新書 2007年

価格
766円

近世後期、九段坂下(今の九段下駅辺り)に住んでいた井関隆子の日記から当時の政治や社会をうかがう書。興味深い内容で約200年前の九段住民に親しみが湧く。歴史に関心が薄くても、当時の生活、芸能、事件、世上の噂…なにか興味をひかれるものがあるはず。

文学部 中川 桂

書名
『大衆の反逆』

著者
オルテガ・イ・ガセット 著
神吉敬三 訳

発行所
筑摩書房
ちくま学芸文庫 1995年

価格
924円

オルテガのいう「大衆」とは、自分の権利主張ばかりする「クレーマー」とか「モンスター・ペアレンツ」のこと。それに対して、自分のことよりも公共の利益を優先し、負わなくてもよい責任を負うのが「真の貴族」だという。高貴であれ、新入生諸君。

文学部 土佐 秀里

書名
『生きる意味
ビクトール・フランク
22の言葉』

著者
諸富祥彦

発行所
KKベストセラーズ 2010年

価格
1,470円

ビクトール・フランクという精神科医の話をもとに、生きることの意味を平易に解説した本です。どんなことにも意味がある。絶望の果てに光があるという、メッセージ。ぜひ、この本に触れてみて。

国際政治経済学部 田端 克至

新入生に是非読んで欲しい1冊

書名
『最後の授業
心をみる人たちへ』

著者
北山修

発行所
みすず書房 2010年

価格
1,890円

「戦争を知らない子供たち」など有名な歌を世に出した北山修は、その後精神分析医として大学に勤務した。彼の最終講義を中心にした本。授業を受けるように、精神分析的な臨床の知を学べる良き入門書。対象を共視する身体的・情緒的交流ある存在の必要性を説く。

文学部 瀧田 浩

書名
『偽書「東日流
外三郡誌」事件』

著者
斉藤光政

発行所
新人物往来社
新人物文庫 2009年

価格
800円

古文書の真偽論争を取材した新聞記者によるルポルタージュ。学問にとって実証を積み重ねて行くことの大切さを痛感させてくれる1冊。次々と立場や発言内容を変え、自己の都合の良いように言い繕う人に対しては、明確な非難が必要だということも教えてくれる。

文学部 五月女肇志

書名
『俄(にわか)
—浪華遊侠伝』(上・下)

著者
司馬遼太郎

発行所
講談社
講談社文庫 2007年

価格
各800円

20代の頃、友人に勧められて読みました。面白いのと、清々しい生き様に夢中になって読みました。

国際政治経済学部 白石まりも

書名
『人生がときめく
片づけの魔法』

著者
近藤麻理恵

発行所
サンマーク出版 2011年

価格
1,470円

著者はまだ23歳で、一つのこと打ち込めば、若くてもこれほど極めることができるのだということを教えてくれる本です。単なる片付けのノウハウを超えて、自分にとって本当に大切なものは何か、人生をいかに生きるべきかについても示唆を与えてくれます。

文学部 塩田今日子

書名
『ヨーロッパ文化と
日本文化』

著者
ルイス・フロイス 著
岡田章雄 訳注

発行所
岩波書店
岩波文庫 1991年

価格
630円

ルイス・フロイス著『日欧文化比較』の翻訳書。布教のために来日したルイス・フロイスは、日本社会や日本人について鋭く観察し、ヨーロッパ社会やヨーロッパ人と比較・対照して記録した。フロイスの指摘の中には、現在にも通じる点多々あり、大変興味深い。

文学部 小山 聡子

書名
『下流志向』

著者
内田樹

発行所
講談社
講談社文庫 2009年

価格
550円

人が学び、成長するという現象の本質について考えることのできる一冊。現代の教育の危機についての議論も示唆的です。著者の語り口も本書の魅力です。ぜひ感想を聞かせてください。

文学部 改田 明子

書名
『グイン・サーガ』

著者
栗本薫

発行所
早川書房
ハヤカワ文庫 1979年～

価格
価格不定

栗本薫(中島梓)の未完の大河小説(ファンタジー)。全130巻(+外伝)を既に読み終えている新入生もいるかもしれないが、未知・未読の人はちょっと味見をしてみてもいい。味見の後、作品を投げ出すか作品にはまるかはあなた次第。

文学部 小渕 朝男

書名
『古代中国の文明観』

著者
浅野裕一

発行所
岩波書房
岩波新書 2005年

価格
735円

古代中国の思想家である儒家・墨家・道家は、文明と自然と人間のあるべき関係について様々な思索を試みた。儒家は、自然と人間との関係について楽観視し、墨家は、これに対して自然から取り出せる富の総量は不足していると考え、道家は、自然と共に暮らす生き方を求めている。その内容・問題について説き明かした書。

文学部 大地 武雄

書名
『使える!経済学の考え方—みんなをより幸せにするための論理』

著者
小島寛之

発行所
筑摩書房
ちくま新書 2009年

価格
777円

「よい社会とはどういう社会なのか」という問題を経済学的に論じた良書である。経済学的に考えることの本当の意味を理解するために読む格好の入門書である。新入生は、本書の内容を十分理解できるだけの能力を身につけて大学を卒業してもらいたい。

国際政治経済学部 岩田 幸訓

書名
『三国志研究入門』
(日外選書Fontana)

著者
渡邊義浩
三国志学会監修

発行所
日外アソシエーツ 2007年

価格
2,299円

三国志研究を志す人に対する手引書。三国志の基本知識や、これまでの研究動向、著書や論文のリストのほか、卒業論文を完成させるまでの手順を丁寧に解説してくれているので、三国志に興味のない人も一読の価値あり。

文学部 伊藤晋太郎

書名
『火山列島の思想』

著者
益田勝実

発行所
筑摩書房
ちくま学芸文庫 2006年

価格
1,575円

「日本人の心の原像とは何か?われわれの祖先たちはいかなる意識をもってこの火山列島に生き、またそれはどのようにわれわれの心に刻みこまれているのか?」とは裏表紙にある文章であるが、日本人の存在証明に関わる一書である。ぜひ一読してほしい。

文学部 磯 水絵

書名
『20歳のときに知っておきたかったこと
スタンフォード大学集中講義』

著者
ティナ・シーリグ著
高遠裕子訳/三ツ松新解説

発行所
阪急コミュニケーションズ 2010年

価格
1,470円

大学で起業家育成コースを担当する著者が、起業家精神とイノベーションに関する講義内容を中心に、そこから得られた教訓をまとめたものです。第9章「これ、試験に出ますか? 及第点ではなく最高を目指せ」だけを読んでもこれからの自分に役立つと思います。

国際政治経済学部 飯田 幸裕

千代田区立千代田図書館との共同企画

『千代田区立千代田図書館で本学附属図書館所蔵資料展示』

《歴代の江戸川乱歩にみる表紙のデザイン》展

平成22年11月29日(月)～23年1月22日(土)まで、本学附属図書館が所蔵する江戸川乱歩賞受賞作品初版本展が千代田区立千代田図書館9階で開催されました。

江戸川乱歩賞は推理作家の登竜門ともいわれていますが、その軌跡を、装丁、帯のデザインという側面からの展示でした。

千代田図書館展示
二松学舎大学附属図書館コレクション
歴代の江戸川乱歩賞にみる表紙のデザイン

入場無料

会期
 第一部 11月29日(月)～12月25日(土)
 第56回(2010年度)受賞作、第3～31回受賞作
 第二部 12月27日(月)～1月22日(土)
 第56回(2010年度)受賞作、第32～55回受賞作
 ※休館日:12月26日(日)、1月1日(土・祝)～3日(月)

会場 千代田区立千代田図書館 9階
 【お問合せ】Tel. 03-5211-4289

共催 二松学舎大学附属図書館

地下鉄メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線 九段下駅4または6番出口から徒歩5分

『「大学教授がオススメする新入生のための150冊」展』

大学教授がオススメする新入生のための150冊

千代田区内にある8つの大学の先生方が、4月から大学生になるみなさんにオススメする本を厳選しました。教授をはじめとする各分野の研究者が取り上げた本には、これから必要な知識や教養、研究の手がかりが詰まっていることでしょう。

「特に読んでもらいたい1冊」には推薦の言葉もいただきました。先生方の本選びのポイントは、今後の読書の参考になること間違いなし！です。

新たな生活に踏み出す4月、あなたを育てる「1冊」を探してみませんか。

展示期間 3月28日(月)～4月23日(土)
開催場所 千代田図書館 9階 展示ウォール

開館時間 【月～金】10～22時 【土】10～19時 【日・祝】10～17時

協力 共立女子大学家政学部、上智大学図書館、専修大学図書館、二松学舎大学附属図書館、日本教育大学院大学図書館、日本大学経済学部図書館、日本大学理工学部図書館、法政大学図書館、明治大学図書館 (50音順)

問合せ 千代田区立千代田図書館
 Tel. 5211-4289

アクセス 地下鉄メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線 九段下駅 4または6番出口から徒歩5分

CHiyODA PUBLIC LIBRARY

3月28日(月)～4月23日(土)まで、千代田区立千代田図書館9階展示ウォールで開催。

千代田区内にある8つの大学の先生方が新入生にオススメの本を厳選して紹介。

「特に読んでもらいたい1冊」には、推薦文も掲示。本学から5名の先生方がオススメの本を紹介しています。

本学の先生方が特に読んでもらいたい1冊は!!

☆文学部教授 磯水絵 『方丈記』

☆文学部専任講師 中川桂 『百鬼夜行絵巻の謎』

☆文学部教授 谷口貢 『遠野物語』

☆文学部教授 大地武雄 『漢文力』

☆文学部教授 武永尚子 『魯迅—その文学と闘い』

☆国際政治経済学部専任講師 岩田幸訓 『故事成語でわかる経済学のキーワード』

二松学舎大学附属図書館について

本学には、九段キャンパスに九段校舎図書館、柏キャンパスに柏校舎図書館があります。両館とも、ほとんどの資料を手にとって自由に使える開架式の図書館です。また、オンライン目録検索システム(OPAC^{オパック})で両館の所蔵資料を探することができます。

九段校舎図書館のフロアガイド

九段校舎の本館地下1・2階にあります。

◇閲覧室 B1・B2F

閲覧室にある資料は、手にとって自由に使うことができます。

◇総合カウンター B1F

資料の貸出・予約・レファレンス・利用案内等を行っています。

◇マイクロフィルム閲覧室 B1F

マイクロフィルム・CD-ROM・DVD-ROM資料が利用できます。

◇別館閲覧室

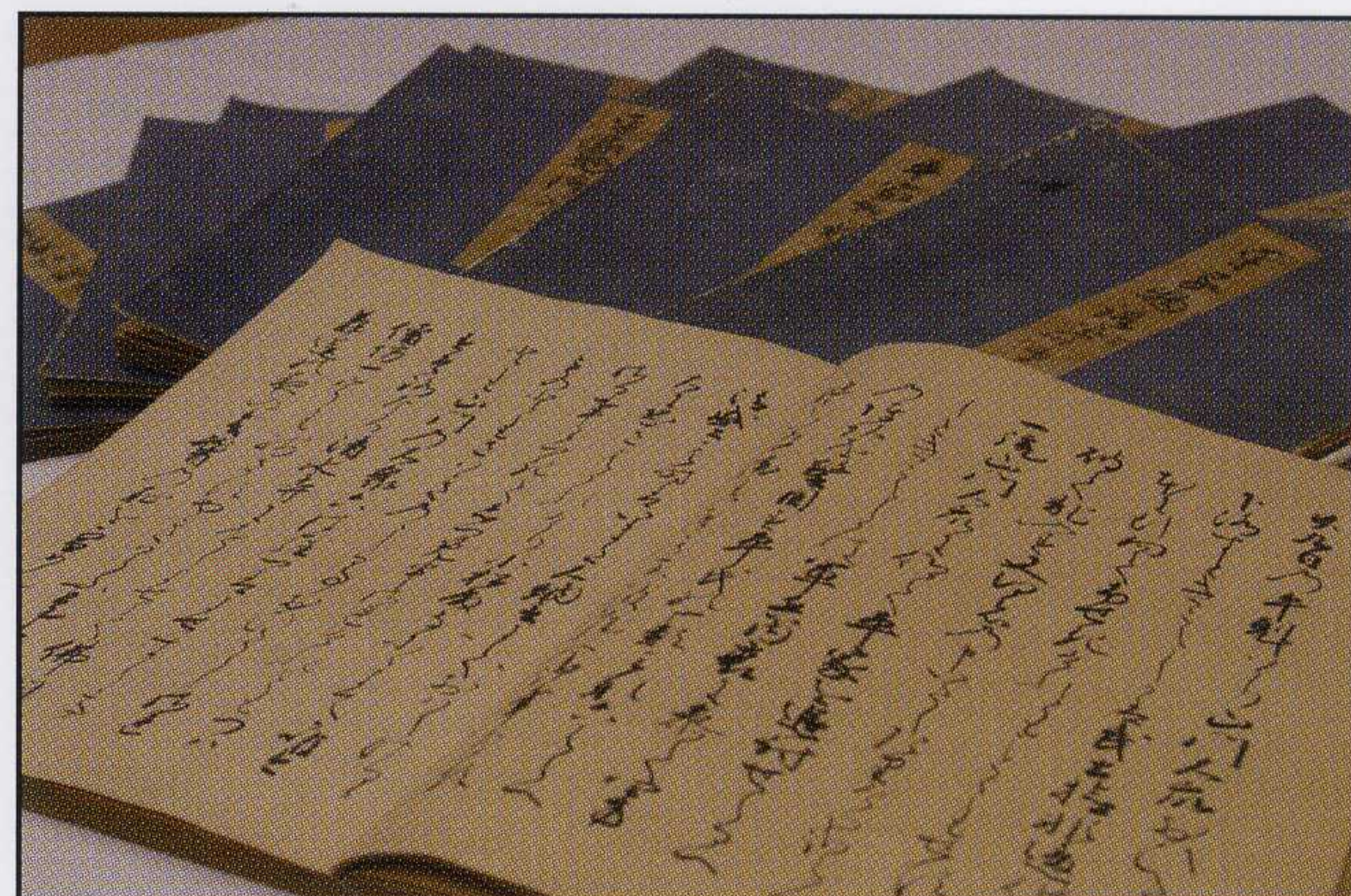
◇AVコーナー B1F

ビデオなどの視聴覚資料が利用できます。

◇貴重本書庫 B2F

和書・漢籍があります。

利用の際はカウンターへご相談ください。



柏校舎図書館フロアガイド

柏校舎の5号館の2・3階にあります。

◇閲覧室 2・3F

閲覧室にある資料は、手にとって自由に使うことができます。

◇総合カウンター 2F

資料の貸出・予約・レファレンス・利用案内等を行っています。

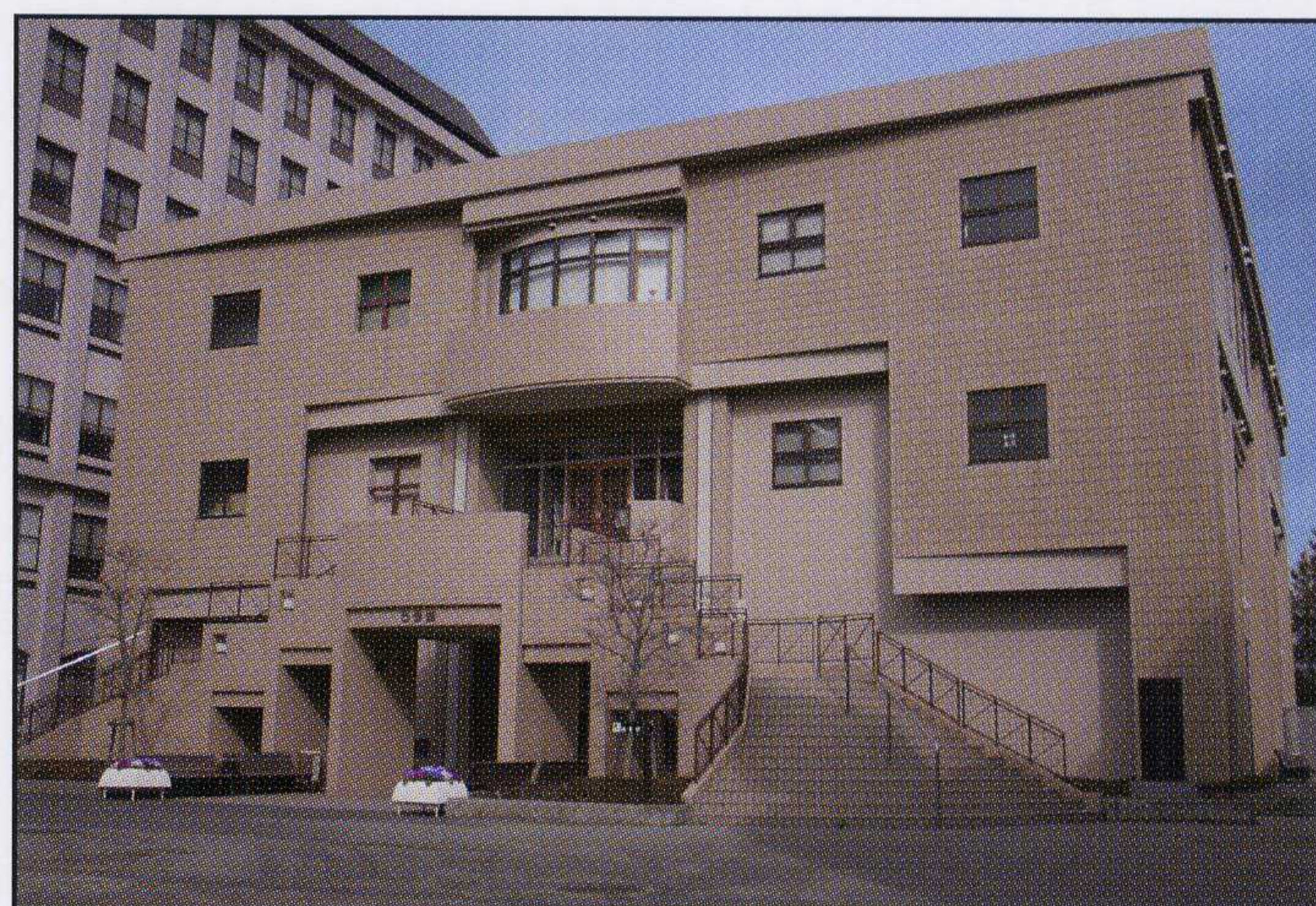
◇AV資料室 2F

ビデオなどの視聴覚資料、CD-ROM資料が利用できます。

◇水木かおるコーナー 3F

作詞家水木かおる氏より寄贈された資料があります。

利用の際はカウンターへご相談ください。



4月の開館日案内

九段				柏	
9:00~16:20	1	金		9:15~16:00	
9:00~16:20	2	土		9:15~16:00	
閉館	3	日		閉館	
9:00~16:20	4	月		閉館	
9:00~16:20	5	火		9:15~16:00	
9:00~16:20	6	水		9:15~16:00	
9:00~16:20	7	木		9:15~16:00	
9:00~21:50	8	金		9:15~18:55	
9:00~16:50	9	土		9:15~16:00	
閉館	10	日		閉館	
9:00~21:50	11	月		9:15~18:55	
9:00~21:50	12	火		9:15~18:55	
9:00~21:50	13	水		9:15~18:55	
9:00~21:50	14	木		9:15~18:55	
9:00~21:50	15	金		9:15~18:55	
9:00~16:50	16	土		9:15~16:00	
閉館	17	日		閉館	
☆ 9:00~21:50	18	月		9:15~18:55	☆
9:00~21:50	19	火		9:15~18:55	
9:00~21:50	20	水		9:15~18:55	
9:00~21:50	21	木		9:15~18:55	
9:00~21:50	22	金		9:15~18:55	
9:00~16:50	23	土		9:15~16:00	
閉館	24	日		閉館	
9:00~21:50	25	月		9:15~18:55	
9:00~21:50	26	火		9:15~18:55	
9:00~21:50	27	水		9:15~18:55	
9:00~21:50	28	木		9:15~18:55	
閉館(昭和の日)	29	金		閉館(昭和の日)	
9:00~16:50	30	土		9:15~16:00	

●授業がない期間は、閉館時間が変更となりますので、ご注意ください。
 ☆18日(月)は、春期休業期間中の長期貸出の返却期限です。
 なお、長期貸出で貸出手続きを受けた資料は貸出延長ができません。
 ※開館時間等が変更になる場合は、随時、HPや掲示等でお知らせします。

資料の貸出

利用したい資料と学生証(図書館利用証)を
 カウンターまでお持ちください。

	冊数	期間
学部生	10冊	14日
大学院生	20冊	30日
教職員	20冊	30日

開館時間

	平日(授業期)	平日(休業期)	土曜日(授業期)	土曜日(休業期)
九段	9:00~21:50	9:00~16:20	9:00~16:50	9:00~16:20
柏	9:15~18:55	9:15~16:00	9:15~16:00	9:15~16:00

表紙資料解説

ちりめん(縮緬)本

多色刷りの挿絵と欧文を和紙に印刷し、縮緬布状に加工して和綴じ本にしたもの。明治期に長谷川武次郎によって考案された。日本の昔話や神話などを題材としたものが多く、英語版・フランス語版・スペイン語版・ドイツ語版などがある。

5月の開館日案内

九段				柏	
閉館	1	日		閉館	
9:00~21:50	2	月		9:15~18:55	
閉館(憲法記念日)	3	火		閉館(憲法記念日)	
閉館(みどりの日)	4	水		閉館(みどりの日)	
閉館(こどもの日)	5	木		閉館(こどもの日)	
9:00~21:50	6	金		9:15~18:55	
9:00~16:50	7	土		9:15~16:00	
閉館	8	日		閉館	
9:00~21:50	9	月		9:15~18:55	
9:00~21:50	10	火		9:15~18:55	
9:00~21:50	11	水		9:15~18:55	
9:00~21:50	12	木		9:15~18:55	
9:00~21:50	13	金		9:15~18:55	
9:00~16:50	14	土		9:15~16:00	
閉館	15	日		閉館	
9:00~21:50	16	月		9:15~18:55	
9:00~21:50	17	火		9:15~18:55	
9:00~21:50	18	水		9:15~18:55	
9:00~21:50	19	木		9:15~18:55	
9:00~21:50	20	金		9:15~18:55	
9:00~16:50	21	土		9:15~16:00	
閉館	22	日		閉館	
9:00~21:50	23	月		9:15~18:55	
9:00~21:50	24	火		9:15~18:55	
9:00~21:50	25	水		9:15~18:55	
9:00~21:50	26	木		9:15~18:55	
9:00~21:50	27	金		9:15~18:55	
9:00~16:50	28	土		9:15~16:00	
閉館	29	日		閉館	
9:00~21:50	30	月		9:15~18:55	
9:00~21:50	31	火		9:15~18:55	

●教育実習に際し、貸出延長を希望される方はカウンターへお申し出ください。
 ※開館時間等が変更になる場合は、随時、HPや掲示等でお知らせします。

資料の返却

資料は返却日までに返してください。
 開館時間外は、返却ポストをご利用ください。

貸出の延長

返却期限内であれば、貸出期間を1回だけ延長することができます。

資料の予約

利用したい資料が貸出中のとき、予約ができます。

休館日

- ◇日曜日・国民の休日・祝日
- ◇創立記念日(10月10日)
- ◇年末年始・夏期休業中・学年末休暇中の一定期間
- ※臨時休館や開館時間の変更等は、ホームページや掲示でお知らせします。

二松学舎大学附属図書館

季報
 第79号

発行日 平成23(2011)年3月25日

発行 二松学舎大学附属図書館

九段校舎図書館 〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16

電話:03-3263-6364

柏校舎図書館 〒277-8585 千葉県柏市大井2590

電話:04-7191-8758

印刷所 株式会社 サンセイ

電話:03-5614-2515